



# 井本商運株式会社

住所：〒650-0035 神戸市中央区浪花町 59 番地  
神戸朝日ビルディング 22 階  
電話：078-322-1600

プレスリリース カテゴリー：[新造船発注]

2014 年 1 月 14 日発信

## 国内最大船型「540TEU 型 内航コンテナ船」を新造発注

井本商運株式会社は、旭洋造船株式会社(本社下関市、越智勝彦社長)に、新造コンテナ船 1 隻を発注しました。本船は、2013 年 11 月に竣工した当社運航船で現在国内最大の「400TEU 型コンテナ船(船名:さがみ)」を上回る 540TEU 型で、近海コンテナ船並みの大型船型となります。

本船には、旭洋造船が開発し特許を取得した風圧抵抗の少ないエコ型船型「球状船首」を採用しました。水線上の船首形状を球状にすることにより、風圧抵抗を低減すると同時に軽量かつ強度の高い構造が実現できます。また、ブリッジと居住区を船首部に配することで、従来型のコンテナ船に比べて良好な視界を確保し、尚且つ積み付け効率を向上させます。これら革新的技術に基づく低燃費性や安全性は本船の特徴のひとつであり、経済産業省と国土交通省 が公募した平成 25 年度「革新的省エネ型海上輸送システム実証事業」に認定されています。

当社は、2013 年 11 月 15 日付で平成 26 年度「阪神港利用促進プロジェクト」に事業企画書を提出しました通り、2015 年度中の次世代型「国内海上コンテナ輸送網」構築を目指しております。これは、今やグローバル経済の流通における世界標準となった ISO 規格海上コンテナを輸出入のみならず国内流通にも投入し、輸出入フィーダー貨物、国内動脈貨物、国内静脈貨物の 3 種類の貨物を一体的に取り扱う事によって規模の経済を実現。我が国流通の省エネ化、低コスト化、多ルート化を目指すものです。

本船は 2016 年 1 月の竣工を予定しており、事業企画書に記載の通り 2015 年度中には「400TEU 型コンテナ船」と共に当社の国内基幹航路に就航する事となります。一方、我が国には ISO 規格海上コンテナの国内流通目的での使用を想定していない制度や考え方が未だ色濃く残っております。この為、事業企画書とは別に「参考資料」として取り纏めた、港湾コンテナターミナルのデザインや ISO 規格コンテナトレーラにおける道路法・道路運送車両法上の二重基準(※)などについては、「一日も早い是正」を強く求めて参ります。

(※)ISO 規格コンテナトレーラにおける道路法・道路運送車両法上の二重基準

ISO 規格海上コンテナ用トレーラ車両の技術基準と通行許可の許認可基準が輸出入を目的とした場合と国内流通を目的とした場合に分かれて規制されているものです。例えば 40FT コンテナの場合、輸出入を目的とした場合にはトラクタ駆動輪の軸重が条件付きで 11.5 トンまで認められているのに対し、国内流通を目的とした場合は同 10.0 トンまでと定められています。この「軸重問題」など制度上の二重基準によって、国内流通目的の 40FT コンテナは ISO フル積載から見て 25%の減トンを余儀なくされています。

<新造船 主要目>				<会社概要>	
全長	134.00m	幅	21.00m	資本金	: 95 百万円
深さ	9.20m	喫水	6.00m	事業内容	: 内航海運業
載貨重量	約 6,800 トン	総トン数	約 7,200 トン	設立	: 1973 年 (昭和 48 年)
主機	MAN B&W 7S35MC7.1			本社	: 神戸市
				社長	: 井本隆之
				売上	: 74 億円 (2012 年度)

<本件に関するお問い合わせは、管理部 大橋までお願いします。>

TEL : 078-322-1607 FAX : 078-322-1620 E-mail : ohashi@imotoline.co.jp